

令和元年度 学校評価

<p>本年度 重点目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の確立。 ・分かりやすい授業など、授業改善に取り組む。 ・進路実現や資取得など、生徒が自ら目標設定し行動する姿勢を育成。 ・家庭・地域に向けた情報発信が積極的に行い、地域に根ざした学校づくりを進める。 ・各分掌業務の見える化の見直しを行い、多忙期の全職員での協力体制を整え、業務の平滑化と精選を行い多忙化解消に努める。また、安全衛生委員会など既存の組織を活用しながら健康障害防止や業務の改善に向けた取組を行う。 ・在校時間の状況記録の集計結果等を安全委員会等で確認し、一ヶ月間の時間外労働時間が80時間を超える教職員に対し面接指導等の希望の有無について確認し、教職員の健康障害防止に努める。 		
項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>総務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総務関連行事における企画・立案の効率化。 ・PTAとの連携と業務の効率化。 ・防災教育の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効率のよい企画立案のため業務分担と協力体制を整える。 ・PTAとの連絡体制を整え、業務分担と協力体制を整える。 ・防災に関する情報を提供や定期的な防災練により防災意識の高揚を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総務関連業務の進捗表と提案議題一覧表を作成・掲示し、目で見ても業務がわかるように示した。 ・メール配信登録を機会あるごとにPRしたが、全員登録までほど遠い。 ・2回の避難訓練を実施したが、授業時間数確保の観点から頻繁に実施することは難しい。
<p>教務部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と学習習慣の確立を図り、成績不振生徒を減らす。 ・成績処理システムの運用を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の授業や復習の大切さを啓発し、成績不振生徒及び欠課時数の多い生徒の早期把握と指導を行う。 ・成績一覧表による教務・担任の確認作業を同時進行で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒は、日頃の授業や復習を大切に成績不振科目を少なくした。しかし、数名の生徒に学習習慣を身に付けさせることが出来なかった。 ・成績伝票の修正、年度末の成績一覧表点検に時間がかかり、完成が遅れたので改善したい。
<p>図書部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読書習慣の確立を図る。 ・図書館における教育活動の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科と連携し、図書館オリエンテーションや読書感想文コンクールを実施する。 ・生徒図書委員会や職員図書委員会を開催し、さまざまな教育活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館オリエンテーションや読書感想文コンクールを実施することによって、読書習慣を確立し、図書館へ何度も足を運ぶ生徒が現れるようになった。 ・生徒図書委員会を中心に、さまざまな読書啓発活動を行うことが出来た。
<p>生徒指導部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自発的な挨拶の発信と自己指導能力の育成。 ・いじめの早期発見と適切な事案対処を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自発的に挨拶をすることを定着させる。生徒が自ら考え、あらゆる場面でその場に応じた適切な行動ができるよう、全職員が意識し、指導にあたる。 ・いじめの情報収集、事案対処の在り方について検証し、いじめの早期発見に努めるとともに適切な対処を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら考え、行動ができるように働きかけることができたが、定着に至るまでには届かなかったと思われる。引き続き、全職員が意識し、指導にあたるべきであるとする。 ・生徒指導部が直接、関わることになった事案が発生し、クラスにおける人間関係や生徒間のトラブルについて、関係職員の連携を持って、把握と早期の対応を図るべきところがあった。
<p>特活部</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校（生徒会）行事への積極的な参加を促す。 ・福祉・ボランティア活動を通して慈愛の心と社会人基礎力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の部活動の定着及び活性化を図る。 ・生徒会行事が生徒主体で行えるように計画し支援する。 ・福祉・ボランティア活動を通して、地域の人々との交流を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の参加状況は良くなっている。活性化することが課題である。 ・学校行事について、生徒主体で行える場面を多く取り入れることができたが、スムーズな運営ができるように丁寧な指導や助言をしていかなければならない。 ・校内のボランティア活動に多くの生徒が参加することができた。校外の活動へ参加していくように情報提供をしていかなければならない。

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 教育活動全般を通して正しい職業観・勤労観を育み、生徒の進路選択、進路実現の支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任を柱として、学科や職員との連携を深め、情報提供および情報交換を密にし、ミスマッチのない進路指導をする。 各種情報が有効活用できるようにデータを作成し、担任や学科を通して、在校生にも広く進路情報が伝達できるようにする。また、外部に向けての情報提供が進められるよう、データの見直しと整理を行う。 インターンシップを通して、社会人としての基礎力や就業に対する意識を高められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供方法の一部が変更できた。進路指導部以外の教員にも事業所面談などに協力してもらい、事業所を知る機会を増やした。 校内サーバーのデータの一部を整理・見直し、必要に応じたデータが閲覧しやすいようにした。引き続き、継続していきたい。 インターンシップのアンケートや報告書より、体験から学ぶことで就業感や学校で指導をされていることの大切さを学ぶことができた。授業時間数確保のため、就業意識を高める別の方法を検討していきたい。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図り、自主的に健康管理が行えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団・個別の保健指導を行い、健康に対する意識の向上を図る。 相談活動を充実させ、精神の健康問題の早期発見に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種検診の結果を疾病の治療に役立てることができた。 相談係、担任、スクールカウンセラーが連携し、相談活動に一定の成果が得られた。生徒連絡会に出席することで生徒情報を把握しやすくなった。今後はさらに関係職員に必要な情報を提供していく方法を検討していきたい。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得、競技会を通して、生徒の学ぶ力と意欲向上を図る。また、その成果を情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得、検定試験、競技大会などへの積極的な挑戦を促す。 中学生体験入学の実施。 ホームページをタイムリーに更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関連職員および生徒に情報提供を適切に行うことができた。競技大会での東海大会出場やジュニアマイスターゴールドを複数名が授与されるなど、成果が上がった 中学生体験入学を円滑に進めることができ、中学生の満足度が高かった。 ホームページを大幅に刷新し、閲覧者に見栄えのある内容に変えることができた。
機械科	<ul style="list-style-type: none"> 工業に関する基礎知識・技能の確実な定着をさせる。 家庭や地域に向け情報発信を積極的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全教員がわかりやすい授業をするための努力をし、生徒の学習意欲の向上につなげる。また、積極的に資格取得に挑戦させ、努力をさせる。 機械科生徒の活躍を積極的にホームページに掲載し、校外への情報発信を幅広く行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業では、ICT機器の活用を行い、わかりやすい授業の展開を行った。資格取得についても、多くの生徒が積極的に挑戦し、ジュニアマイスターゴールドを輩出するなど、大きな成果を収めた。 ホームページの活用は行えなかった。次年度は積極的に更新し、情報発信に努めたい。
電子工学科	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり人材の育成と実績づくりの実践。 広報活動の実践。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習、課題研究、競技会参加を通してものづくりをする。 ホームページを通して電子工学科の活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各科目競技会において、例年通りのものづくりは実施できたが、結果に結びついていないのでレベルアップを図りたい。ホームページによる広報活動は発信することができた。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 確かな資質・能力を育む。 家庭や地域に対する情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器を用いた授業を通し、判断力・表現力の向上を図る。また、大工技能士、施工技術者試験など専門の資格取得を目指す。 各種大会の積極的な参加や外部講師の派遣など有効に活用する。 ホームページを通して建築科の活動を発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器の活用により理解度と興味関心の向上に繋がることの確認ができた。 外部講師の派遣により3級大工技能士を6人中、5人合格することができた。 ホームページの更新により建築科の活動内容を発信することによりPRすることができた。

項目	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
環境工学科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本の定着と資格取得の充実を図る。 地域へ向けた環境工学科のPR活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の学習意欲を引き出すような授業を行い、課題や小テストを実施し、基礎・基本の定着を図る。 資格の必要性を理解させ、資格検定の年間計画を作成し、積極的な取得を目指す。 校外イベント・コンテスト等へ、積極的に参加をするとともに、ホームページによるPR活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動では、授業後の補習や家庭での学習の定着ができてつある。次年度以降も引き続き指導していきたい。 資格取得については、新しい資格取得の準備ができ、実施できた。しかし、コロナウイルスによる試験中止等もあり、残念な資格もあった。 校外でのイベントでは多くの生徒が参加し、PRすることができた。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 礼儀礼節を重んじる生活習慣の確立。 進路実現と社会人に向けての人間力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業、部活動、行事において、良好な人間関係を構築し、規範意識を高め、集団生活での規律を身につけさせる。 進路実現に向けての自己確認と事業所研究を通して、社会人として生きていく人間力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路決定までの期間は、良い緊張感を持ち授業と考査に取り組めた。2学期の中間考査以降は意識の低下した生徒もいた。 球技大会、体育祭、そして文化祭。高校生として最後になることから、良い盛り上がりをした。 就職試験などの対策指導を受けることで、生徒は自己確認をすることができた。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、卒業式が簡略化されたが、何とか無事に終えることができた。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立と修学旅行の成功。 進路実現に向けての意識の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活の各場面で5分前行動を意識させ、集団生活での規律を身につけさせる。修学旅行を通して、その成果を発現させる。 元気な挨拶と返事の励行 毎日の授業に真剣に取り組む、将来必要となる問題解決能力を培う。 インターンシップ等を通して自己の進路を意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好であるが、今後も時間や提出期限を守る大切さを指導していき、確実な定着を図っていききたい。 集団行動の中で自己の役割を認識し行動することができた。今後は、自己の健康管理についても意識をより向上させたい。 元気な挨拶と返事を今後も継続して実践を行っていききたい。 概ね授業を真剣に取り組めた。また、自主学習の大切さについても継続して指導を行っていききたい。 インターンシップ等を通して、コミュニケーション能力の向上を目指すことができた。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る。 工業高校生としての自覚・目標設定をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5分前行動や自ら挨拶することを心掛けさせる。 各教科学科と連携を図り提出物の有無を共有する。また、健康観察などから気になる生徒には迅速かつ密な連絡を家庭と図る。 各学科との連携を図り、全生徒が技術頭彩を目指し資格取得に挑戦させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任の先生方が日頃から生徒へ声掛けをしていただき、概ね5分前行動ができた。 各教科学科と連絡を図り、成績不振者数などの減少に繋がった。 技術頭彩を目指し、資格取得に取り組んだが、試験によって合格数が5割を切っていた。次年度も継続させたい。
学校関係者評価を実施する主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着及び学習習慣の確立。 生徒の社会人としての規範意識・マナーの向上、正しい身だしなみの定着。 進路意識の向上及び資格取得への積極的な取組。 		